

令和元年度 八幡小学校 教職員 非違行為防止研修 その1

八幡小の教職員として、子どもたち、保護者・地域の皆さんに信頼されるように、4月から毎月、非違行為防止研修に取り組んでいます。()は、非違行為防止研修後の職員の感想)

4月・・・飲酒運転をはじめとする非違行為の根絶、綱紀粛正に向けて、各自で「誓い」を記入した。体罰根絶のためのセルフチェックの実施し、自問する時間を設けた。

5月・・・児童に対する「性的行為」根絶のための「八幡小ルール」について話し合った。スクールセクハラに関わるセルフチェックを実施し、各自の普段の行動を見直した。



6月・・・盗撮が疑われる事例をもとに、どこが問題なのか、同僚はどうしたらよかったのか、などについて、少人数で話し合った。

気になったことは自分の胸にとどめておかず、誰かに相談することが大事。そのために職員同士が日頃から何でも話せる人間関係を作っておきたい。

7月・・・非違行為（体罰）の詳細な経緯をまとめた資料の読み合わせをし、多くの人に多大な迷惑がかかることや、多くの時間が費やされることなどを確認した。

体罰は指導ではないので、子どもたちの心に届く指導を心がけたい。体罰の事例を読み、こんなにも多くの方に迷惑をかけてしまうことを知り、怖さを感じた。

8月・・・「わいせつな行為」についての事例を読み、少人数で話し合ったり、児童に対する「性的行為」根絶のためのルールについて再確認したりした。

この先生は、自分自身を俯瞰することができなかったのだろうと思った。感情的になるなど、私自身も俯瞰してみることができない瞬間がある。自分を振り返ること、大事にしていきたい。

9月・・・「個人情報の紛失」についての事例を読み、原因や周囲への影響などについて話し合った。

個人情報の入ったものは、極力、家に持ち帰らないようにしたい。学校での仕事の能率化、効率化を図り、個人情報の管理をしていきたい。

10月・・・「暴言」についての事例を読み、問題点を確認し、自身の普段の指導のあり方を見直した。

大声を出したからといって、子どもがよくなるわけではない。自分の行動が「自分本位の考えではないか」ということを常に意識して、子どもに接していきたい。

このように、本校では、非違行為防止の研修を重ねています。「信頼される八幡小の教職員でありたい」こうした思いをこれからも大事にしながら、研修を重ねていきたいと思ひます。

繰り返し研修をしても非違行為がなくなるという現状があり、継続して定期的に研修を行う必要があると思う。いろいろな事例に触れて、防止に対する意識を高めていきたいと思う。



男性職員、女性職員に分かれて話し合う